

心の和がれ No.44

(2013/9～10)

p 01～01	一休み	p 03～03	マイガーデン
p 01～01	東京オリンピック開催	p 03～03	日帰り研修旅行
p 02～02	憎しみは不幸にする	p 03～03	季節は秋
p 02～02	天を仰ぐ		
p 02～02	敬老の集い		

2013.09.01

・一休み

酷暑が続く毎日であるが天然のシャワーにホッとする。どんよりとした空を見上げ乾ききった土壌にもう少し降水を期待しながら坪庭を眺める。毎朝スズメが 10 羽ほど飛来する、中には声高くさえずるのは子スズメだろう親鳥から口移しに餌をもらう姿は愛おしく気分も爽やかになる。◆西日の遮光に「アケビ」の棚がある、今年は稔りもよく熟すのを待つばかり、皮にミンチを詰め揚げて食しているが、少々の苦味が食卓を彩る。戦時中には甘く白い果肉をほおぼっては、黒い種をぷっぷと吐き出した思い出がある。物の乏しい時代のアケビの甘さは格別の物。◆現代の子にアケビの果肉は虫を連想し手にしない、況してや甘さなど感じない。「山の子に木魂は親し通草採り」米沢吾亦紅。「サッカリン」「ズルチン」科学甘味料の吾世代には天然の甘さが忘れられない。

2013.09.08

・東京オリンピック開催決定

2020 年の東京オリンピックが開催決定の報に 56 年前を思い起こす。東洋の魔女と称えられたバレーボール・体操の遠藤幸雄・重量挙げの三宅義信それにマラソンのアベベビキア選手が脳裏に焼き付いている。丁度社会人になり名神高速道路の仕事に関係し、尼崎～栗東間が開通し、トヨタコロナ RT40 で燃費テストを実施した思い出も新たな感がある。◆1979 年になるが携帯電話の小型化が進み両手で持ちながら会話できる程度まで小さくすることが可能となったが、短時間の通話でも疲れてしまうほどに重かった。まだまだ車に搭載しての使用が限度であったが日本が世界で初めて開発した。あれから 56 年超小型化になり、小学生から携帯するなど通信技術や日常生活に至るまで進歩の加速は日進月歩である。◆7 年後に向かい経済の発展・原発事故の処理など。また、世界に恥じることのない運動指導問題など指導者の意識改革も急務だ。

2013.09.15

・憎しみは不幸にする

イブシロン打ち上げ成功、早速、韓国メディアは日本の「軍国主義化」を強調、安倍政権たたきを繰り返しており、新型ロケットの開発目的まで歪曲^{わいぎよく}して伝える反日姿勢。隣国は過去を忘れることなく事あるごとに自己主張、昔を重んじることは日本国民としても同然であり、隣人を愛し理解しあい共に発展していくことを我々は知っており実行もしている。然しながら、日本人の絆や心が読めない隣国なのだろうか。悲しいかな隣国の人々・・・

2013.09.22

・天を仰ぐ

今年は天候異変が続く、烈日の毎日にまばゆい太陽に吹き出る汗・あせ節電対策にクーラーも控えめに置き場のない体に天を仰いで溜息。可といえど雨・あめが続くなか雨脚に耳をそばだて、洪水の被害地域を目の当たりにして天を仰ぐ、今年は幾度天を仰いだことだろう。◆やっと朝夕に涼風を感じ安らぎを感じるようになった。中秋の名月だ、足元を明るく照らすのは燦然と輝く月光だ。心安らかに天を仰ぐのは何か月ぶりだろうか、虫の音を聞きながら「月々に月見る月は多けれど月見る月はこの月の月」優しき月の光を仰いで” 恐山と一献” 心が和む。「春夏秋冬」季節の移り変わりを味える日本は素晴らしい。” のど元過ぎれば” 何とやら烈日も過去の事、秋を楽しむ、未来志向の国民、明日に向かって進みたい。

2013.09.29

・敬老の集い

満70歳から集いへの参加資格が得られる。今年も参加申込を行い出席するが、同時に開催のお手伝いの役も指名される。高齢者の行事を高齢者が支える老老介護が今後も続いていくことだろう。そのためにも高齢者が元気でいなくてはならない。我々の時代には道德教育も受け人の道はかくあるべきと教わった。日々、人を敬^{うやま}う行動の中で自身の心が磨かれる。まさに人格練磨である。人は自分中心の生き方に流されがち。自身との格闘なくして成長はありえない。磨かれた人間の輝きが、周囲を輝かせ、社会も変えていく原動力となるのだが。今の時代日本人として、否人間としての在り方を見直すべきではなかろうか。

2013.10.06

・マイガーデン

今夏ガレージの日除けにゴーヤを 5 本植えたおかげで、車内が高温にならず、又、朝食のジュース・お好み焼き・チャンプルなど食卓を彩り「恐山」の栄養バランスの努力で烈日を乗り越えた。感謝かんしゃ。ゴーヤも 10 月に入ると果肉を求めて虫が付くので撤去した。ガレージもスッカリ陽射しが眩いが、秋季で暑さも我慢ができる。来夏は山ブドウを日除けにする予定で育成中で今冬に植樹する。来年は山葡萄酒が楽しめそうだ。◆今月は行事が多く多忙であるが、松・花梨・タイサンボク・梅・山茶花など高木の剪定は拙生の担当であり、毎年の事であるが「恐山」のご意見を少しは尊重しながら作業にかかるが、結果的には” 仰せの通り” 利を得たご指導となる。” 老いては妻に従い” これが宜しいようで・・・

2013.10.13

・ 日帰り研修旅行

明日は老人会の日帰り研修会で三方五湖に 33 名の参加で開催いたします。好天气が予想され暑さも一休みを願っています。日帰りで観光バスの利用で近畿圏内が恒例であり、会員の方には 3・4 回は観光されたことだろう。しかし毎年楽しみにされ、特に一般ツアーに参加されない高齢者で足腰に不安を持たれる方には、おおいにご参加いただきたい。当老人クラブでは常日頃から” 気配り心配り” で絆を深め” 肝胆相照らす” 仲間集団が自慢である。現地に到着すると健常者がこぞって足早に車イスの確保を、バスの乗降にはゆっくり・ゆっくりと性急な人は一人としていない。◆何気ない会話の中で、思いがけないアイデアや解決へのヒントを見いだした経験は、誰にでもある。特に自分とは地位や年齢や職業が全く違う相手との対話ほど、予想外の触発を受ける場合が多い。自身を見詰め、視野を広げ、思索を深める旅行は絶好の機会である。「あのひと話しても・・・」と、自分から壁を作っては、折角の好機を逃してしまう。さあ、澄みわたる秋空のような心で、真摯な語らで互いに親睦を深め有意義な旅行としたい。

2013.10.20

・ 季節は秋

朝、目が覚めて手足を伸ばすと、ふとんの端々がひんやりと冷たく、秋も日増しに深まってきました。西日除けの棚に「アケビ」がたわわに実り「花梨」も豊作です。庭の目隠しに「小町竹」があり昨年の竹を採取して「恐山」が筆を制作しています。荒々しく表現するのに使用するのかな、と。私は想像するのだが。◆今月末に開催されるシルバー人材センターの「シルバーフェスタ」出展の年賀状やPOPを数種類制作し。「恐山」は陶芸でオブジェ 2 点・絵画を人物デッサンでパステル画 1 点・手芸でジープでバッグを 3 点。そして当日には私も混じって秋田音頭と花笠音頭を 10 名で演舞するが「出ることに意義がある」と手前勝手に観客に拍手を強要する傍若無人で後期高齢期をエンジョイ。◆創作・表現の秋だ、リタイアして 14 年が経過「5 年・10 年・20 年と同じ仕事に、同じく熱心に力を集注すれば、遂には他の人に出来ないことを平気でやってのけるようになるであろう」武者小路実篤の言葉。自分はどのように成長したのだろうか、無意味に日々を過ごしていないか、秋の日は釣瓶落としに、ふと脳裏をかすめる。

2013.10.27

2013.09.~2013.10

E N D